

用語集

頭文字	単語又は略称	説明
あ	IOC(アイ・オー・シー)	International Olympic Committee 国際オリンピック委員会のこと。
	IPC(アイ・ピー・シー)	International Paralympic Committee 国際パラリンピック委員会のこと。
	アクション&レガシープラン	「東京2020大会に参画しよう。そして、未来につなげよう。」というコンセプトの下、一人でも多くの方が参画(アクション)し、大会をきっかけにした成果を未来に継承(レガシー)するために組織委員会が掲げたプラン。
え	NOC(エヌ・オー・シー)	National Olympic Committee 各国・地域のオリンピック委員会のこと。
	NPC(エヌ・ピー・シー)	National Paralympic Committee 各国・地域のパラリンピック委員会のこと。
か	関係自治体等連絡協議会	競技会場が所在する自治体、組織委員会及び国が、緊密に連携しながら東京2020大会の準備を進めていくために設置された協議会であり、正式名称は「2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた関係自治体等連絡協議会」。構成員は、競技会場が所在する道県の知事・政令指定都市の市長、都知事、組織委員会会長及び東京オリンピック・パラリンピック担当大臣。協議会の下には、実務担当者による情報交換や調整を行うための「幹事会」が設置された。
き	共生社会ホストタウン	国が進めるホストタウンに係る取組の一つで、共生社会の実現に向けた取組の推進のため、2017年11月に新設された。海外のパラアスリートの事前キャンプ受入れ等をきっかけに、ユニバーサルデザインの街づくり及び心のバリアフリーに向けた取組を実施する自治体のこと。
く	クルーザー(係留、陸置)	発動機やキャビン(船室)を備えた大型ヨットのこと (係留は海上で、陸置は陸上の艇置場に船台を用いて保管する)。
け	係船環(けいせんかん)	船舶をつなぎとめるため、さん橋などに設けた、ワイヤーやロープを結び付けるための環のこと。
し	シティキャスト	会場所在自治体が募集を行うボランティア。会場が所在する自治体の「顔」として、おもてなしの心を持って観客や観光客をお迎えし、競技会場の最寄り駅周辺における観客への案内などを行うボランティアのこと。県内では横浜市と藤沢市が募集を行った。別名「都市ボランティア」。
	シティドレッシング	オリンピックシンボル、パラリンピックシンボル、大会エンブレム、マスコット、ピクトグラム等を活用し、街中を大会色に彩る装飾のこと。
じ	JOC(ジェイ・オー・シー)	Japanese Olympic Committee (公財)日本オリンピック委員会のこと。
	JPC(ジェイ・ピー・シー)	Japanese Paralympic Committee 日本パラリンピック委員会のこと。
そ	組織委員会	(公財)東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会のこと。
で	ディンギー	主にキャビン(船室)を持たない小型ヨットのこと。
	デュアルエンブレムバッジ	東京2020大会のオリンピック・パラリンピック両方のエンブレムがあしらわれたバッジのこと。
ば	バース	ディンギーやクルーザーの置場のこと。
ぱ	パブリックビューイング	大型スクリーンなどを設置し、競技会場以外で競技を観戦し、大会の臨場感や会場との一体感を味わうことができる場所。
ほ	ホストタウン	国が推進している取組で、東京2020大会の事前キャンプ受入れ等をきっかけに、各国との相互交流を図るとともに、スポーツ振興、共生社会の実現、国際理解の推進、地域の活性化等を進める自治体のこと。
ゆ	ユニバーサルデザイン	幅広い年齢や様々なニーズのある人々が、特別な調整なしに利用できるデザイン。
ら	ラストマイル	観客利用想定駅から競技会場の入退場口までの経路のこと。
り	リエゾン	団体間の連絡窓口や調整役のこと。
れ	レガシー	オリンピック・パラリンピック等の開催により開催都市や開催国が、長年にわたり継承・享受できる、大会の社会的・経済的・文化的恩恵のこと。

【法人略称】 公益財団法人:(公財)、一般財団法人:(一財)、公益社団法人:(公社)、一般社団法人:(一社)、学校法人:(学)、特定非営利活動法人:(特非)

東京2020 オリンピック・パラリンピック 競技大会を終えて

1年間の延期を経て開催された、東京2020大会。

2013年の東京招致決定から、実に8年間という長きにわたる取組は、
17日間と13日間の夢の祭典の終わりをもって、一つの大きな区切りを迎えた。
過去に例を見ないほどの一大事業に、県は「オール神奈川」の体制で臨んだ。

垣根を越えた自治体同士のつながり、組織をまたぐ関係者間の協力、
そして何より大会を心待ちにする県民の思いが一つになり、

東京2020大会を成功へと導いた。

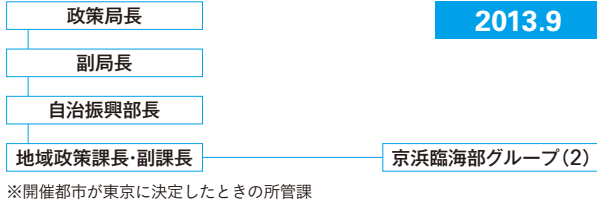
大会を終えた今、この事業に取り組んだたくさんの人たちの思いは、

レガシーとして未来へと受け継がれる。

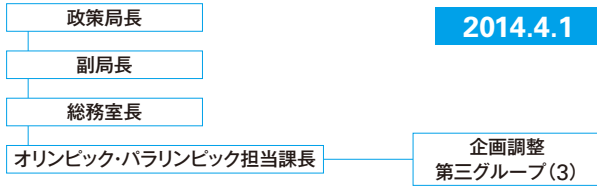
未来へ、つなぐ。

オリンピック・パラリンピック所管部局・職員数の変遷

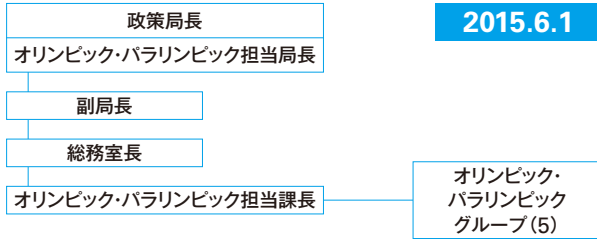
※ () 内は担当職員数



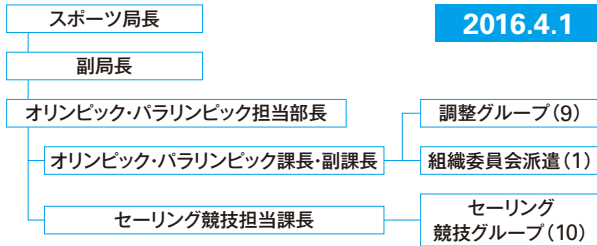
※開催都市が東京に決定したときの所管課



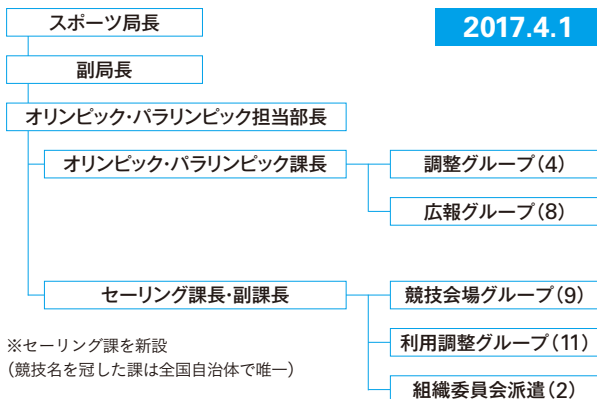
※政策局総務室にオリンピック・パラリンピック担当課長を配置
※企画調整第三グループでオリンピック・パラリンピック業務を所管



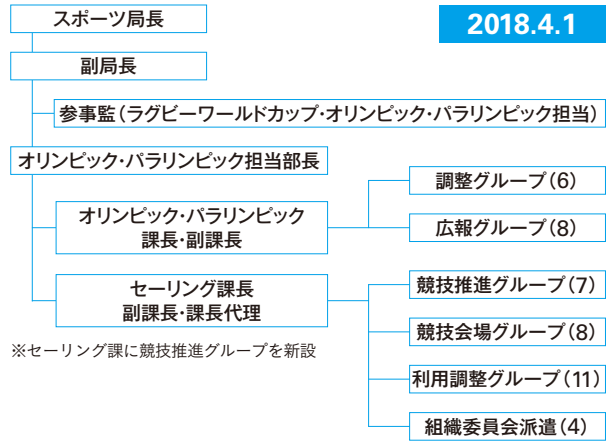
※政策局にオリンピック・パラリンピック担当局長を配置
※企画調整第三グループをオリンピック・パラリンピックグループに改称



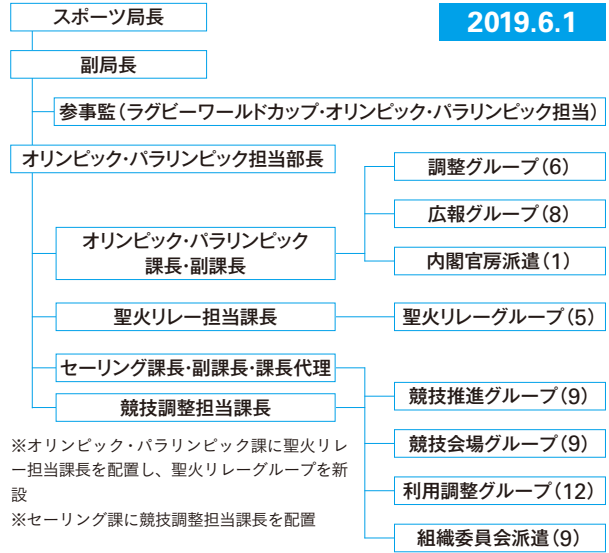
※スポーツ局を新設(教育委員会所管のスポーツ行政(学校体育関係を除く)のほか、オリンピック・パラリンピック、ラグビーワールドカップ、高齢者スポーツや障がい者スポーツなどを集約)
※オリンピック・パラリンピック担当部長を配置
※オリンピック・パラリンピック課を新設
※セーリング競技担当課長を配置



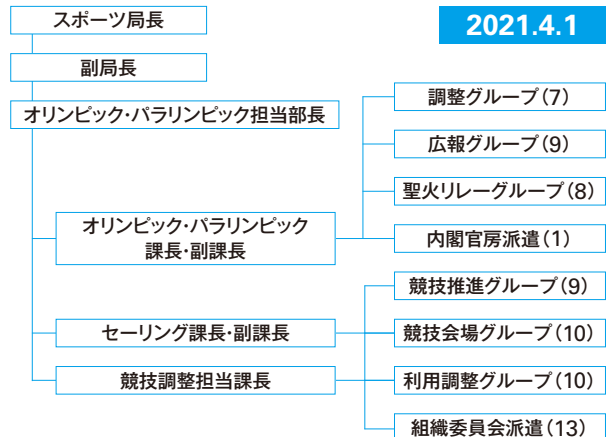
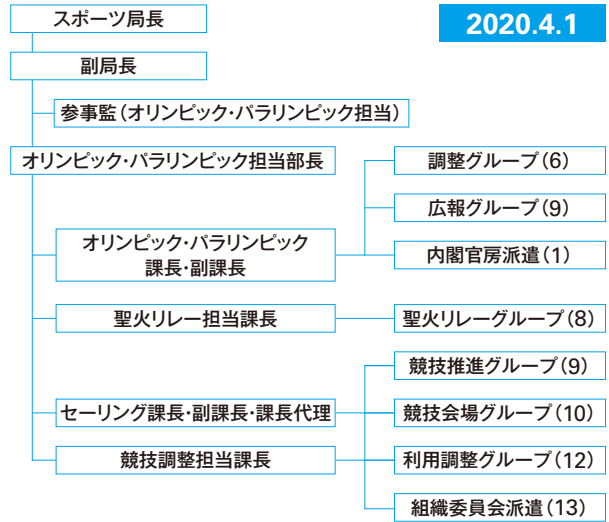
※セーリング課を新設(競技名を冠した課は全国自治体で唯一)



※セーリング課に競技推進グループを新設



※オリンピック・パラリンピック課に聖火リレー担当課長を配置し、聖火リレーグループを新設
※セーリング課に競技調整担当課長を配置



東京2020大会関連予算の推移

(万円)

年度	予算額	内訳			
		区分	金額	主な内容	
2015年度	1億674万円	当初予算	1,900	東京2020大会の事前キャンプ誘致	1,000
				かながわバラスポーツの普及推進	900
		6月補正	600	アスリート育成事業費	600
		7月補正	474	かながわバラスポーツの普及推進	474
		9月補正	2,000	東京2020大会・セーリング競技江の島開催に向けた取組(会場整備に関する調査など)	2,000
		11月補正	2,500	Feel SHONANキャンペーン事業費	2,500
		2月補正	3,200	かながわシープロジェクトの推進	3,200
2016年度	5億946万円	当初予算	18,615	東京2020大会・セーリング競技開催準備費(会場整備に関する調査など)	4,400
				東京2020大会関連交通施設調査費	3,798
				アスリート育成事業費	3,000
				パラリンピアン育成事業費	2,000
				東京2020大会・セーリング競技普及啓発費	1,000
				その他	4,417
9月補正	6,105	江の島大橋改修工事設計費	3,170		
2月補正	26,226	葉山港船舶保管地改修工事設計費	2,935		
		葉山港船舶保管地改修工事費	24,500		
		セーリング競技・東京2020大会成功に向けた機運を醸成する取組	1,726		
2017年度	5億1,891万円	当初予算	51,891	給油施設整備費、港湾改修費(江の島大橋改修工事費)	32,530
				相模湖漕艇場整備費	4,406
				セーリング関係施設整備費	4,000
				アスリート育成事業費	4,000
				東京2020大会・セーリング競技開催準備費(会場整備に関する調査など)	3,960
				その他	2,995
2018年度	15億8,650万円	当初予算	146,362	セーリングセンターの整備	55,000
				セーリング競技関係施設補修費	35,600
				港湾改修費(江の島大橋改修工事費)	22,500
				相模湖漕艇場整備費	11,800
				オリンピック及びパラリンピアンの育成支援等	6,193
				その他	15,269
11月補正	3,988	事前キャンプ等受入環境整備費補助	3,988		
2月補正	8,300	山岳スポーツセンタークライミング施設整備費	8,300		
2019年度	27億6,871万円	当初予算	273,799	東京2020大会・セーリング競技開催に向けた準備(既存艇の移動など)	109,067
				湘南港の既存施設等の改修	62,408
				東京2020大会を見据えた警備体制の強化	51,190
				「READY STEADY TOKYO-セーリング」等に向けた取組(既存艇の移動など)	11,391
				文化オリンピック推進事業費	8,500
				その他	31,243
6月補正	3,072	湘南港既存艇移動事業費負担金	2,314		
		パラリンピック聖火フェスティバルに向けた取組	758		
2020年度	34億2,066万円	当初予算	274,519	東京2020大会・セーリング競技開催に向けた準備(既存艇の移動など)	54,055
				聖火リレー実施事業費	51,300
				ライブサイト実施事業費	50,000
				湘南港の既存施設等の改修	41,100
				警備体制の強化	17,991
				その他	60,073
6月補正	67,547	東京2020大会湘南港既存艇移動事業費	67,547		
2021年度	40億8,793万円	当初予算	408,793	事前キャンプ等推進事業費	209,655
				聖火リレー実施事業費	55,618
				東京2020大会・セーリング競技開催に向けた準備(既存艇の移動など)	44,929
				ライブサイト実施事業費	44,737
				警備体制の強化	16,600
				その他	37,254
小計(a)	129億9,891万円	「東京2020大会の取組」として予算記者発表資料等に記載の数値を集計			
その他(b)	13億3,535万円	予算記者発表資料に記載されていない東京2020大会関連恒久施設の整備(湘南港改修等)			
	△11億9,528万円	大会の1年延期に伴い、2020年度6月補正予算にて減額			
合計(a+b)	131億3,898万円				

※東京2020大会関連の決算額については、2021年度決算額が確定次第、公表する

東京2020大会のあゆみ

2011▶13

2011

7月16日

石原都知事が東京都の2020年オリンピック・パラリンピック開催都市への立候補を正式に表明し、JOCへ立候補意思表明書を提出。JOCが「国内立候補都市」として承認

8月29日

JOCがIOCに東京都を「申請都市」として正式に通知。東京都を含めバクー（アゼルバイジャン）、ドーハ（カタール）、イスタンブール（トルコ）、マドリッド（スペイン）、ローマ（イタリア）の6都市が申請

9月15日

東京2020オリンピック・パラリンピック招致委員会発足。会長に石原都知事、理事長に竹田JOC会長、事務総長に水野JOC副会長が就任

2012

2月13日

招致委員会が開催計画概要を記載した申請ファイルをIOCに提出

5月23日

IOC理事会は申請ファイルの評価を参考に東京、イスタンブール、マドリッドの3都市を「立候補都市」に選定

7月27日～8月12日

ロンドン2012オリンピック開催

8月29日～9月9日

ロンドン2012パラリンピック開催

2013

1月7日

招致委員会が大会計画をまとめた「立候補ファイル」をIOCへ提出

9月7日

IOC総会で2020年のオリンピック・パラリンピック開催都市が東京に決定

10月4日

「五輪のための神奈川ビジョン2020推進本部」を設置

2014▶15

2014

1月24日

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会が設立。会長に森喜朗元首相が就任

5月19日

「五輪のための神奈川ビジョン2020(素案)」への意見募集開始

6月10日

舛添都知事が建設コストの高騰などを理由に競技施設の整備計画の見直しを表明

6月18日

県議会本会議で、知事が会場見直しについて「積極的に最大限の協力」をしていくと答弁

7月19日～9月28日

県立歴史博物館で開催50周年記念「よみがえる東京オリンピック」特別陳列を開催

7月30日

全33市町村とともに「神奈川2020事前キャンプ誘致等委員会」を設置

8月22日

「オリンピック・パラリンピックのための神奈川ビジョン2020」を発表

11月14日

「KANAGAWA事前キャンプガイド」(パンフレット及びHP)を発表

12月8日

オリンピックの改革案を審議するIOC臨時総会で競技数上限を撤廃、開催都市が実施種目を追加提案できる案を承認。野球・ソフトボールの復帰や空手などが追加される可能性が広がる。開催都市以外、開催国以外での競技実施を認める案も承認

2015

1月6日

「かながわバラスポーツ推進宣言」を発表

2月1日

県のたよりに「みんなのバラスポーツ始まる」を掲載

2月13日

エリトリアオリンピック委員会会長が知事を訪問

2月27日

組織委員会が大会開催基本計画をIOC、IPCに提出

3月17日

オランダオリンピック委員会が知事を訪問及び県内施設を視察

4月10日

競技施設の整備見直しを進めていた東京都が若洲に代わるセーリング競技会場の検討開始

5月16日

セーリング会場検討に向けた東京都、組織委員会、国際セーリング連盟、日本セーリング連盟による湘南港視察及び意見交換を実施

5月30日

第1回「かながわバラスポーツフェスタ2015」を開催(以後、2019年まで9回開催)

6月8日

IOC理事会でセーリング競技の江の島開催が決定

6月9日

セーリング競技・江の島開催決定報告会を実施

6月18日

駐日リトアニア共和国特命全権大使が知事を訪問

7月24日

「東京2020大会エンブレム」が発表される

8月1日

県のたよりに「江の島ふたたび。」を掲載

9月1日

組織委員会が「東京2020大会エンブレム」の白紙撤回を発表

9月2日

小田原市、大磯町、箱根町、星槎グループとともにエリトリアオリンピック委員会と事前キャンプに関する協定を締結

11月27日

第1回「関係自治体等連絡協議会」が開かれ、大会の成功に向けて役割分担や機運醸成等の協議が開始

12月9日

IOC理事会で東京2020オリンピック自転車競技(ロード以外)の会場が承認される

12月11日

「神奈川県会場プラン(調整素案)」中間報告を発表

12月22日

組織委員会に対しサーフィン競技の湘南海岸「Shonan」への誘致に係る要望書を提出

2016

1月12日

「神奈川県会場プラン(調整素案)」中間報告(競技海面)について漁業関係者への説明・意見交換会を開催

1月26日

平塚市とともにリトアニアの、小田原市、大磯町、箱根町とともにエリトリアのホストタウンに登録

1月29日、31日

第1回「湘南港利用者説明会」を開催

2月23日、24日

「SKYプロジェクト第1弾」エリトリアの陸上選手が横浜市の保育園などを訪問

3月1日

ヨットの帆で神奈川県の頭文字「K」を表現したロゴマークを発表

3月5日

「セーリング体験イベントinテラスモール湘南」を開催

3月18日

「SKYプロジェクト第2弾」エリトリアの陸上選手が箱根町の小学校などを訪問

3月22日

「KANAGAWA事前キャンプガイド」のHPに動画や、観光・文化情報などを追加

4月1日

スポーツ局を新設し、オリンピック・パラリンピック課を設置

4月11日、12日

リトアニアオリンピック委員会が平塚市総合公園など県内施設を視察

4月12日

駐日リトアニア共和国特命全権大使・同国オリンピック委員会が知事を訪問

4月25日

「東京2020大会エンブレム」が野老朝雄氏が制作した組市松紋に決定

4月28日

第1回「江の島セーリング競技推進連絡会議」を開催(以後、2021年9月まで10回開催)

5月9日

セーリングプロモーション動画が完成(イメージ動画・競技ルール説明動画・艇種紹介動画)

5月11日

ブータンオリンピック委員会会長が知事を訪問

5月12日

ブータンオリンピック委員会会長が城山陸上競技場(小田原市)などを視察

5月19日

「SKYプロジェクト第3弾」エリトリアの陸上選手が小田原市や箱根町の幼稚園などを訪問

5月27日

IOCエグゼクティブミーティングの一環でIOCジョン・コーツ副会長等が湘南港を視察

5月31日

県議会本会議で知事が「大磯プリンスホテルを分村することを組織委員会に提案していく」と答弁(組織委員会には6月10日に提案)

6月10日

日本サーフィン連盟との連名で、改めて組織委員会に対しサーフィン競技の湘南海岸「Shonan」への誘致に係る要望書を提出

6月13日

「神奈川県会場プラン(調整素案)」を公表

6月28日

日本マリナー・ビーチ協会神奈川県支部とセーリング競技の成功に向けた覚書を締結

7月5日

リオ2016大会出場選手激励会を県庁本庁舎で開催

7月23日、24日

第2回「湘南港利用者説明会」を開催

7月25日

県主催のセーリング海上体験会を初めて開催

8月3日

IOC総会で東京2020オリンピックの追加種目(野球・ソフトボール、空手、スケートボード、スポーツクライミング、サーフィンの5競技18種目)が正式に決定

8月5日

組織委員会が「TOKYO 2020 PRE-GAMES TRAINING CAMPS ONLINE GUIDE」を公開

8月5日～21日

リオ2016オリンピック開催

8月15日～20日

知事がリオ2016大会を視察

8月28日

第1回「葉山港利用者説明会」を開催(以後、2019年10月まで3回開催)

9月7日～18日

リオ2016パラリンピック開催

9月21日

日本セーリング連盟がWCS江の島大会開催決定を発表

10月8日

「ラグビー・オリバラ神奈川応援団設立総会」及び「リオ2016大会祝賀イベント」を開催

10月10日

「セーリング陸上体験会 in クイーンズパーク」を開催

10月14日

「東京2020参画プログラム」が開始

10月28日

平塚市とともにリトアニアオリンピック委員会と事前キャンプに関する協定を締結

11月13日

湘南港に艇の移動に関する相談窓口を設置(以後、2019年10月まで87回設置)

11月19日、20日

「かながわパラスポーツコーディネーター養成会」を県として初めて開催

11月19日、26日

「神奈川県障害者スポーツサポーター養成講習会」を県として初めて開催

11月22日

東京都、組織委員会、国に対し、役割分担・費用負担を早急に明確にすることなどを要請

12月6日

「SKYプロジェクト第4弾」エリトリアの陸上選手が小田原市の小学校等を訪問

12月7日

IOC総会で東京2020オリンピックの追加5競技18種目の競技会場が決定

12月9日

小田原市、大磯町、箱根町とともにプータンのホスタウンに登録

12月10日

「パラスポーツトライアル2016inかながわ」を開催

12月21日

「東京2020オリンピック競技大会・セーリング競技の江の島開催に関する漁業関係者への説明・意見交換会」を開催

12月26日

関係自治体とともに東京都、組織委員会、国に対し東京2020大会の役割分担等に関する要請活動を実施

3月17日

IOC理事会で野球・ソフトボール競技会場として福島あづま球場(福島県)が承認される

3月25日、26日

第3回「湘南港利用者説明会」を開催

3月27日

旧かながわ女性センターの撤去工事完了

3月28日

「神奈川県スポーツ推進条例」を制定

4月1日

「都市鉱山からつくる!みんなのメダルプロジェクト」がスタート

4月1日

セーリング課設置

4月11日

漁業関係者に対し、5つのレース海面案を提示し、直接的に影響の高い相模湾沿岸の8つの漁業協同組合を対象に説明

4月13日

小田原市、大磯町、箱根町、星槎グループとともにプータンオリンピック委員会と事前キャンプに関する協定を締結

4月19日

オリンピックの具志堅幸司氏、パラリンピアン成田真由美氏を「KANAGAWA事前キャンプアンバサダー」に任命

4月21日

JOCパートナー都市協定を締結

4月25日

東京都、組織委員会、国に対して、セーリングの他の競技とは異なる事情を踏まえて、役割分担・費用負担について早期の明確化を要請

5月9日

知事が、役割分担・費用負担について、上田埼玉県知事と森田千葉県知事とともに、菅官房長官、丸川東京オリンピック・パラリンピック担当大臣、萩生田官房副官同席のうえ、安倍首相と会談

5月12日

第2回「ラグビー・オリバラ神奈川応援団総会」を開催

5月31日

「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の役割(経費)分担に関する基本的な方向について」に合意

6月9日

IOC理事会で東京2020オリンピックの種目数339種目、選手数上限11,090人が決定

7月14日

相模湾沿岸にある8つの漁業協同組合から成る「オリンピック等漁業者対策協議会」が発足

7月21日

江の島かもめ駐車場がオープン

9月3日

「東京2020オリンピック・パラリンピックフラッグツアール」フラッグ歓迎イベントを県庁本庁舎で開催

9月4日～11月6日

「東京2020オリンピック・パラリンピックフラッグツアール」の市町村巡回を実施

9月16日～23日

湘南港で「RS:X級世界選手権」が開催

9月19日

「SKYプロジェクト第5弾」プータンのアーチェリー選手が小田原市内の高校の弓道部を訪問

10月3日、4日

県協力による初の「JOCオリンピック教室」を県立相模原中等教育学校で開催

10月12日

海外のセーリング選手との初めての交流イベントを開催(フランスチームが鎌倉市内の保育園と高校を訪問)

10月17日

動画「やってみたぞーっ! ラジオ体操～神奈川オールスターズ～」を公開

10月23日

台風21号により、江の島かもめ駐車場のアスファルトがめくれる被害が発生

10月26日～29日

湘南港で「江の島オリンピックウィーク」が開催

10月28日

「かながわで東京2020大会の感動をともに～1000 Days to Go!～」を開催

10月29日～11月8日

リトアニアオリンピック選手団が平塚市総合公園等で初めてのテストキャンプを実施

11月7日

第1回「オリンピック等漁業者対策協議会との会議」を開催。組織委員会が、関係する漁業関係者にレースエリア仮案を提示

11月7日

動画「東京五輪音頭-2020-神奈川ver.」を公開

11月14日

「WCS江の島大会実行委員会」が設立

11月29日

「SKYプロジェクト第6弾」エリトリア及びプータンの陸上選手が小田原市や大磯町の小学校を訪問

12月20日

第1回「神奈川県輸送連絡調整会議」を開催(以後、2020年2月まで5回開催)

2018

1月20日

相模原市、日本ボート協会とともにカナダボート協会と事前キャンプに係る覚書を締結

2月3日

IOC理事会で東京2020オリンピック自転車競技(ロード)の会場が承認される

2月22日

第2回「オリンピック等漁業者対策協議会との会議」を開催

2月28日

「東京2020マスコット」が決定。制作はキャラクターデザイナーの谷口亮氏。全国の小学校、海外の日本人学校など16,769学校、205,755学級が投票に参加

3月28日

組織委員会の理事会において、江の島会場における選手村分村を大磯プリンスホテルとすることが決定

3月31日

かながわ女性センター跡地のコンテナ置場(繫結設備)整備完了

4月1日

県のたよりに「2つの海のワールドカップ」を掲載

4月10日

「東京2020オリンピック聖火リレー」のコンセプト「Hope Lights Our Way / 希望の道を、つなごう。」が発表される

4月10日

組織委員会が神奈川県オリンピック聖火リレーは3日間と発表

4月15日

セーリングキャラバンを開始(神奈川県障害者スポーツ大会)

4月22日

ミャンマーオリンピック委員会が城山陸上競技場、星槎大学箱根キャンパスなどを視察

4月24日

小田原市、大磯町、箱根町、星槎グループとともにミャンマーオリンピック委員会と事前キャンプに関する協定を締結

5月2日

IOC理事会でサッカーの7競技会場が一括承認される。これで東京2020オリンピックすべての競技会場が決定

5月10日~15日

津久井浜海岸で「ANAウィンドサーフィンワールドカップ横須賀大会」が開催

5月11日

第3回「ラグビー・オリパラ神奈川県応援団総会」を開催

5月14日

第3回「オリンピック等漁業者対策協議会との会議」を開催

5月18日

駐日リトアニア共和国特命全権大使が知事を訪問及び湘南港を視察

5月31日

平塚市とともにリトアニアパラリンピック委員会と事前キャンプに関する協定を締結

6月6日

「東京2020オリンピック聖火リレー神奈川県実行委員会」を設置。第1回会議を開催

6月13日

東京2020オリンピック開会式前後が4連休、閉会式前後が3連休となる法律が参議院本会議で可決され成立

7月12日

「東京2020オリンピック聖火リレー」の出発日・出発地が「2020年3月26日福島県」と発表。聖火が各都道府県を巡る日程も発表

7月22日

「東京2020マスコット」の名前がミライトワ(オリンピック)とソメイティ(パラリンピック)に決定

8月1日~10月8日

WCS江の島大会2018開催による大会スペース確保のため、学生など江の島かもめ駐車場へ艇移動

8月1日

県のたよりに「WCS江の島大会2018」を掲載

8月6日

海外選手向けの漁業注意喚起動画「Watch Out for Fishing Operations 海を楽しむ皆さまへ ~漁具にご注意~」を公開

8月15日~10月8日

WCS江の島大会 2018で使用されるエリアの利用者が空きバスへ艇移動

8月17日

東京2020大会の競技会場装飾、都市装飾、ボランティアのユニフォーム、公式ライセンス商品などに使用されるデザインのベースとなる「コアグラフィックス」が発表される

8月25日

「東京2020大会はもう目前! 2年前記念イベント in 神奈川県~Tokyo 2020 2 Years to Go!~」を開催

8月31日

小田原市、大磯町、箱根町とともにミャンマーのホスタウンに登録

9月6日

セーリングワールドチャンピオンシップ及びアジア大会で金メダルを獲得した選手を知事が激励

9月7日

セーリング選手による訪問教室事業を開始(逗子市立小坪小学校)

9月9日~16日

湘南港で「WCS江の島大会2018」が開催

9月26日

県議会本会議で知事がオリンピック聖火リレーについて「県内をくまなく回ることは不可能」「神奈川県魅力効果的に発信できるルートとなるよう工夫する」と答弁

9月30日

台風24号により、江の島かもめ駐車場に移動していたデインギンが転倒

10月2日~14日

リトアニアオリンピック選手団が平塚市総合公園等でテストキャンプを実施

10月9日~15日

リトアニアパラリンピック選手団が平塚市総合公園等で初めてのテストキャンプを実施

10月9日

組織委員会が漁業関係者へ漁業補償に伴う具体的な説明を開始

10月10日

リトアニアの首相などが湘南港を視察するとともに、オリンピック・パラリンピック選手団のテストキャンプ歓迎セレモニーに出席

12月21日

東京2020パラリンピック聖火リレーコンセプト発表

2019

1月19日、20日

第4回「湘南港利用者説明会」を開催

2月4日

リビエラリゾート、湘南なぎさパーク、県の3者で東京2020オリンピック競技大会におけるセーリング競技への協力に関する協定を締結

3月12日

「東京2020オリンピックスポーツピクトグラム」(全33競技50種類)が発表される

3月16日

「~東京2020開催まであと500日! ~みんなで踊ろう! 東京五輪音頭-2020-」を開催

3月20日

「東京2020聖火リレー公式アンバサダー」に野村忠宏氏、田口亜希氏、石原さとみ氏、サンドウィッチマンの両氏が就任。日本人に最もなじみ深い花である桜をモチーフとした「東京2020オリンピック聖火リレートーチ」と日本の伝統色を使用し「拭きぼかし」という浮世絵の技法を用いた「東京2020オリンピック聖火リレーエンブレム」も発表される

3月25日

東京2020パラリンピック聖火リレー概要、エンブレム、トーチの発表

4月1日

県のたよりに「2つの海のワールドカップ」を掲載

4月4日

「東京2020 NIPPONフェスティバル」(大会公式文化プログラム)のキャッチフレーズ「Blooming of Culture 文化は、出会いから花開く。」、組織委員会が主催する4つのプログラムの企画概要などが発表される

4月13日

「東京2020パラリンピックスポーツピクトグラム」(全22競技23種類)が発表される

4月16日

東京2020オリンピックの全競技スケジュールが発表される

4月24日

県立相模湖漕艇場(相模原市)の新ボートコース完成

5月10日~15日

津久井浜海岸・三浦海岸で「ANAウィンドサーフィンワールドカップ横須賀・三浦大会」が開催

5月13日

NPO協働事業「Jazz&Sail ~ヨットレースの話聞くひとときと~」を開催

5月16日~26日

リトアニアパラリンピック陸上チームが平塚市総合公園等でテストキャンプを実施

5月23日

ポルトガルパラリンピック委員会会長が県立体育センター(現:県立スポーツセンター)を視察

5月26日

県立相模湖漕艇場新ボートコースのオープニングセレモニーを開催

5月30日

海洋プラスチック回収装置(Seabin(シービン))を湘南港に導入し、本格稼働開始

6月1日

東京2020オリンピック聖火ランナー募集概要と東京2020オリンピック聖火リレールート概要、襷をモチーフとした「東京2020オリンピック聖火ランナーユニフォーム」が発表される

6月1日

オリンピック聖火リレーの通過市町を発表

6月1日、2日

第5回「湘南港利用者説明会」を開催

6月15日

湘南港利用者との東京2020大会時の艇移動契約を開始

6月28日

オリンピック聖火リレーの聖火ランナー募集を発表(募集期間7月1日~8月31日)

7月1日

「東京2020オリンピック聖火ランナー」各都道府県実行委員会が公募を開始

7月1日~9月30日

WCS江の島大会2019開催による大会スペース確保のため、江の島かもめ駐車場へ艇移動

7月2日

湘南港で県立中央農業高等学校の生徒が育てた芝生の苗を植栽

7月4日

パラリンピック聖火フェスティバルをすべての市町村とともに実施したい旨、各市町村へ依頼

7月5日

片瀬東浜海水浴場と小田原城址公園でのライブサイト開催を発表

7月9日

「フラワーレーンプロジェクト」が始動(東京都と神奈川県で児童が種まきを実施)

7月11日

第4回「ラグビー・オリパラ 神奈川県応援団総会」を開催(横浜開催推進委員会との合同開催)

7月12日

海外選手への漁業注意喚起動画(イセエビ漁追加バージョン)を公開

7月16日~9月16日

WCS江の島大会2019で使用されるエリアの利用者が、空きバスへ艇移動

7月19日

東京2020大会のフィールドキャスト(大会ボランティア)、シティキャスト(都市ボランティア)のユニフォームが発表される

7月21日

TOKYO2020湘南ラッピングトレイン&モノレールKANAGAWAの運行開始

7月26日

聖火ランナー選考部会設置を発表

7月29日~8月5日

カナダオリンピックボートチームが県立相模湖漕艇場でテストキャンプを実施

7月31日

葉山港の立体駐車場整備完成

7月31日

湘南港の給油施設完成

8月1日

県のとよりに「WCS江の島大会2019」「神奈川を走るオリンピック聖火ランナー募集」を掲載

8月3日

江の島大橋3車線化及び江の島セーリングセンター完成記念式典を実施

8月3日

「~Tokyo 2020 I Year to Go! ~」1年前記念イベントin藤沢を開催

8月4日~9日

湘南港で「470級世界選手権」が開催

8月7日

WCS江の島大会2019がデザインされた宝くじが発売

8月8日~10月14日

「TOKYO2020湘南ラッピングトレイン&モノレールKANAGAWA」フォトコンテストを実施

8月8日

県企画プログラム推進事業「デュアルエンブレムバッジ配付事業」を開始

8月10日~26日

リトアニアオリンピック自転車競技(トラック)チームが平塚競輪場でテストキャンプを実施

8月17日~22日

湘南港で組織委員会主催のセーリング競技のテストイベント「READY STEADY TOKYO-セーリング」を開催

8月17日

「~Tokyo 2020 Paralympic Games I Year to Go! ~」1年前記念イベントin神奈川」を開催

8月20日

国際セーリング連盟キム・アンダーセン会長が知事を訪問

8月21日

パリ2024大会・セーリング会場のマルセイユ市視察団が県を訪問

8月21日~23日

聖火リレールートを徒歩で現地調査

8月23日

エルサルバドルオリンピック委員会副会長が県立体育センター(現:県立スポーツセンター)等を視察

8月24日

湘南港既存艇の移動先に係る抽選会を実施

8月25日~9月1日

湘南港で「WCS江の島大会2019」が開催

8月29日

海外選手への注意喚起動画「Enoshima Yacht Harbor Local Rules (江の島ヨットハーバーローカルルール)」を公開

8月31日

システムの設定誤りで、聖火ランナー応募締切り間際の14分間、応募フォーム送信ができない状態が発生

9月8日

台風15号により、江の島かもめ駐車場に移動していたディンギーが転倒

9月9日

聖火ランナーに8,417人から応募があったことを発表(公募人数51人に対して倍率約165倍)

9月9日

藤沢市とともにポルトガルパラリンピック委員会と事前キャンプに関する協定を締結

9月24日、25日

聖火リレールートを徒歩で現地調査(伊勢原市、鎌倉市、横浜市の1区間)

9月28日

「かながわバラスポーツビーチフェスタ2019」を開催

9月30日

JOC山下会長が知事を訪問

10月11日

フランスのプロヴァンス=アルプ=コート・ダジュール(シュッド)地域圏知事が知事を訪問

10月28日

組織委員会が漁業関係者に東京2020大会レースエリア案を提示

10月31日

藤沢市とともにポルトガルのホストタウンに登録

11月1日

IOC、組織委員会、東京都、国の4者協議を経て、東京2020オリンピックのマラソンと競歩の開催地の札幌市への変更が決定

11月1日

県のとよりコラム「2020夏、セーリングに大注目!」掲載開始(2020年4月号まで)

11月9日

湘南港で江の島の子どもたちによる植樹を実施

11月22日

パラリンピック聖火フェスティバルについて、全市町村で「採火式」を行うことや、各市町村の採火式及び神奈川県集火・出立式の日程を発表

11月25日

外国人観光客向け観光ボランティアの募集開始(2021年4月中止)

11月30日

NPO協働事業「Enjoy Sailing Together! ~誰もが楽しめるセーリング~」を開催

12月5日

エジプトフェンシング協会会長が県立体育センター(現:県立スポーツセンター)を視察

12月17日

「東京2020オリンピック聖火リレー」の各都道府県詳細ルートが発表される

12月17日

聖火リレー詳細ルート及び聖火ランナー(65人)を発表

12月17日

平塚市とともにリトアニアの、藤沢市とともにポルトガルの共生社会ホストタウンに登録

12月17日

オリンピック・セーリング競技470級女子日本代表に内定した吉田選手・吉岡選手が知事を訪問

12月27日

藤沢市とともにエルサルバドルのホストタウンに登録

1月1日

県のとよりに「感動を、ふたたび。世界へ、神奈川で。」「県内開催4競技で盛り上げられ」を掲載

1月6日

県庁本庁舎にて大会開催200日前を記念したカウントダウンボード点灯式を実施。その後新庁舎に設置

1月6日

東京2020公式アートポスター全20作品(オリンピック12作品、パラリンピック8作品)が公開される

1月16日

東京2020大会開催に向けたディンギー及び陸置クルーザーの移動を開始

1月21日

県立藤沢工科高等学校の江の島セーリングロゴマーク入りペンチ寄贈に対する感謝状贈呈式を実施

1月23日

東京2020大会の日本代表選手団公式服装が発表される。式典用服装でオリンピック、パラリンピック同一のデザインは初

1月23日

県庁新庁舎に日の丸セーラーズ横断幕、階段装飾を実施

1月25日

江の島弁天橋北側入口にて東京2020大会・セーリング競技開催記念モニュメント除幕式を実施

1月28日

藤沢市とともにエルサルバドルオリンピック委員会と事前キャンプに関する協定を締結

1月30日

東京2020大会記念品プロジェクトに参画し、県内の伝統的工芸品が記念品として決定

1月31日

県立体育センター(現:県立スポーツセンター)改修工事完了

2月1日

県のとよりに「聖火リレーが神奈川にやってくる」を掲載

2月6日

パラリンピック聖火フェスティバルにおける市町村と県の採火式の内容や、県の集火・出立式の内容を発表

2月13日

聖火ランナー3人の追加発表

2月15日

組織委員会が羽村市等で聖火リレーのリハーサルを実施

2月26日

県庁本庁舎新庁舎間の渡り廊下を東京2020大会ルックとマスクで装飾

2月29日

ディンギー及び陸置クルーザー移動が完了

3月1日

県のとよりに「聖火ランナーに聞きました!」を掲載

3月5日

片瀬江ノ島周辺・湘南海岸公園周辺・鶴沼海岸周辺をバンナーフラッグなどで装飾

3月4日

「神奈川県障がい者スポーツ協会」が設立

3月9日

聖火ランナーの走行市町を発表

3月12日

「東京2020オリンピック聖火リレー聖火採火式」がギリシャ・オリンピア市のヘラ神殿跡で開催

3月12日

東京2020大会のレースエリア等について、対象となるすべての漁業協同組合からの合意を得る

3月19日

「東京2020オリンピック聖火リレー聖火引継式」がギリシャ・アテネのパナシナイコスタジアムで開催

3月20日～25日

「東京2020オリンピック聖火リレー復興の火展示」が宮城県、岩手県、福島県で実施される

3月24日

IOCと組織委員会が東京2020オリンピックの延期を発表。戦争を理由に夏冬季合わせて5大会の中止はあるが延期は史上初

3月24日

「東京2020オリンピック聖火リレー」のスタート中止が発表される

3月25日

係留クルーザーの移動は保留していただく通知を发出

3月25日

国道134号沿いの片瀬江ノ島駅入口交差点付近と片瀬東浜交差点付近の地上配電機器をラッピングシールで装飾

3月30日

IOC、IPC、組織委員会、東京都、国が東京2020大会の新日程(オリンピック2021年7月23日～8月8日、パラリンピック8月24日～9月5日)に合意

3月31日

藤沢市とともにエジプトのホストタウンに登録

3月31日

海外選手への漁業注意喚起動画(しらす漁追加バージョン)を公開

4月1日

県立体育センターを「県立スポーツセンター」に改称

4月2日

WCSファイナル江の島大会2020の中止が発表

4月7日

「緊急事態宣言」(東京、神奈川、埼玉、千葉、大阪、兵庫、福岡の7都府県で発出。その後、全都道府県に拡大)

4月20日

「東京2020 NIPPONフェスティバル」の2020年内イベント開催中止が決定

6月1日

県のとよりにコラム「セーリング基本の『き』」掲載開始(2020年12月号まで)

6月8日

大会の延期に伴い、湘南港への艇戻し作業を開始

6月30日

小田原市、大磯町、箱根町とともにエリトリア、ブータン、ミャンマーの共生社会ホストタウンに登録

7月2日

大会延期に伴い、片瀬江ノ島周辺・湘南海岸公園周辺・鶴沼海岸周辺に設置したバンナーフラッグを撤去

7月17日

東京2020オリンピックの新たな競技スケジュールが発表される

7月23日

東京2020オリンピック開幕まで1年。オリンピックスタジアムで競泳の池江璃花子選手が「1年後の今日、この場所で、希望の炎が輝いてほしい」と世界に向けて語りかけた

7月23日

東京2020オリンピック1年前を記念して、会場所在自治体(横浜市、相模原市、藤沢市)とともに5色のライトアップを実施

8月24日

東京2020パラリンピック1年前を記念して、会場所在自治体(横浜市、相模原市、藤沢市)とともに3色のライトアップを実施

9月25日

IOC調整委員会で、延期後の大会について52項目の簡素化を合意

9月28日

新たな聖火リレーの実施日程とパラリンピック聖火フェスティバルの実施日を発表

11月12日～12月28日

オリンピック聖火リレーの県庁展示を実施

11月12日

セーリング競技日本代表内定選手や県ゆかりの選手動画を公開。聖火ランナーのももクロの3人と自転車BMX日本代表畠山紗英選手の対談動画を公開

11月16日

日本セーリング連盟がワールドイズワン江の島セーリングカップ2021の大会概要を発表

11月25日

藤沢市とともにエジプトフェンシング協会と事前キャンプに関する協定を締結

12月2日

東京2020大会における新型コロナウイルス感染症対策の中間整理が公表される

12月15日

聖火リレーの実施市町を改めて発表

12月15日

「組織委員会が著名人ランナーを公道以外の場所に配置する案を検討」との報道

1月1日

県のとよりにコラム「もうすぐ東京2020大会!語り継ぐもの1964年大会の記憶」掲載開始(2021年8月まで)

1月4日～6月30日

オリンピック聖火リレートーチ展示とともに、パラリンピック聖火リレートーチの県庁展示を開始(2021年4月1日から6月24日までは市町村を巡回展示)

1月7日

2回目の「緊急事態宣言」(東京、神奈川、千葉、埼玉の1都3県で発出。その後11都府県に拡大)

2月1日

東京2020大会開催に向けたディンギー及び陸置クルーザーの移動を開始

2月12日

森組織委員会会長が辞意を表明

2月18日

橋本聖子氏が組織委員会会長に就任。東京オリンピック・パラリンピック担当大臣の後任には丸川珠代氏が就任

2月25日

神奈川県/藤沢市 東京2020オリンピック競技大会 セーリング競技ガイドを発行

2月25日

組織委員会が「東京2020オリンピック聖火リレーにおける新型コロナウイルス感染症対策に関するガイドライン」を提示

3月15日

ディンギーの艇移動が完了

3月21日

陸置クルーザーの艇移動が完了

3月23日

ポルトガルパラリンピアン紹介動画を公開

3月23日

「神奈川県ホストタウン等新型コロナウイルス感染症対策基金条例」可決

3月25日

「東京2020オリンピック聖火リレー」が福島県「Jヴィレッジ」からスタート

3月30日

「みんなで応援しよう!神奈川県ゆかりの選手達!」をHPで公開

3月31日

オリンピック聖火リレー詳細ルート及び聖火ランナーを改めて発表

3月31日

パラリンピック聖火フェスティバルの新たな日程における市町村と県の採火式の内容や、県の集火・出立式の主な内容について発表

4月1日

東京2020大会開催に向けた係留クルーザーの移動を開始

4月3日、8日

江の島に在住者に大会時の島内における通行規制などについて、説明会を開催

4月14日

東京2020オリンピック100日前を記念して、県庁本庁舎で5色のライトアップを実施

4月20日～8月1日

神奈川県に対してまん延防止等重点措置が適用

5月15日

係留クルーザーの移動が完了

5月16日

東京2020パラリンピック100日前を記念して、県庁本庁舎で3色のライトアップを実施

5月19日

リトアニアパラリンピック委員会から事前キャンプを中止する旨の連絡(21日に中止を発表)

5月25日

聖火ランナー2人の追加発表

5月26日

定例会見で知事が「できる限り公道リレーを行いたい。まん延防止等重点措置は5月31日までで、感染状況を見ながら判断する。今は公道での実施に向けて準備と組織委員会に報告。判断はギリギリまで待ちたい」と発言

5月27日

知事が橋本会長に対し、安全・安心な大会の開催に向け、組織委員会及び県内の会場所在自治体等による協議会の設置などについて提言書を手交

5月28日

パラリンピック聖火リレールート詳細、集火式及び聖火リレーに各都道府県代表が参加することについて発表

**6月1日**

県のためにより「神奈川県に聖火リレーがやってきます」を掲載

6月4日

第1回「神奈川県新型コロナウイルス感染症対策に関する東京2020大会協議会」を開催

6月11日

知事定例会見で、オリンピック聖火リレーの公道走行中止及びライブサイトの中止を発表

6月11日

第2回「神奈川県新型コロナウイルス感染症対策に関する東京2020大会協議会」を開催

6月15日

選手などが対象の感染防止ルールをまとめた「プレイブック」の最新版が公表される

6月19日

「神奈川県・横浜市ゆかり選手オンライン壮行会」を開催

6月21日

セーリング競技丸わかりガイドを発行

6月21日

IOC、IPC、組織委員会、東京都、国の5者協議を経て、東京2020オリンピックは全会場の観客数の上限が「収容定員50%以内で1万人」となることが発表される

6月22日

第3回「神奈川県新型コロナウイルス感染症対策に関する東京2020大会協議会」を開催

6月25日

聖火リレー点火セレモニー、聖火リレー期間中の県庁本庁舎でのライトアップについて発表

6月26日～9月12日

県立歴史博物館でコレクション展「運動のすすめ-20世紀神奈川のスポーツイベント-」を開催し、聖火リレートーチなどを展示

6月28日

辻堂神台公園(藤沢市)で点火セレモニーを実施

6月29日

橋本公園(相模原市)で点火セレモニーを実施

6月30日

横浜赤レンガ倉庫(横浜市)で点火セレモニーを実施

6月30日

組織委員会、オリンピック等漁業者対策協議会及び神奈川県しらす船曳網漁業連絡協議会の間でレスエリアや運営方法等に関して最終合意に至る

7月1日～17日

カナダオリンピックボートチームが県立相模湖漕艇場で事前キャンプを実施

7月1日

県のためにより「7月23日、東京2020オリンピック開幕。」を掲載

7月2日

エリトリア、ミャンマーの事前キャンプ中止を発表

7月4日～8月3日

リトアニアオリンピック選手団が平塚市総合公園等で事前キャンプを実施

7月5日

セーリング競技の開催地である江の島会場内での事前練習開始

7月8日

4回目の「緊急事態宣言」(東京都)が発出。5月21日発出の沖縄は延長。その後21都道府県に拡大

7月8日

IOC、IPC、組織委員会、東京都、国の5者協議を経て、東京2020オリンピックは首都圏の全会場原則無観客となる発表される

7月8日～17日

エジプトオリンピックフェンシングチームが県立スポーツセンター(藤沢市)で事前キャンプを実施

7月9日

「神奈川県オリンピックガイド」を発行

7月13日

東京2020大会に参加する選手が滞在する選手村が開村

7月13日～8月7日

オリンピック セーリング村開村

7月13日～8月5日

江の島と島外駐車場・最寄り駅を結ぶ無料バスが運行

7月13日～23日

エルサルバドルオリンピック選手団が県立スポーツセンターで事前キャンプを実施

7月13日～21日

ブータンオリンピック選手団が星槎大学箱根キャンパスで事前キャンプを実施

7月13日

片瀬江ノ島周辺、湘南海岸公園周辺、鶴沼海岸周辺及び江の島島内を横断幕、バナーフラッグで装飾

7月14日

ラストマイル上の階段、地下道壁面、江の島弁天橋手すりをペイントシールで装飾

7月15日～9月10日

オリンピック・パラリンピックに向けた県内の子どもたちの作品を江ノ電車内に掲出

7月16日～9月8日

県庁本庁舎外柵を大会エンブレムなどがデザインされたパネルで装飾

7月16日～8月1日

ブラジルオリンピックカヌーチームが県立宮ヶ瀬湖カヌー場(清川村)で事前キャンプを実施

7月21日

開会式に先んじて福島あづま球場でソフトボールの予選リーグが始まる。日本代表・上野由岐子投手が投げた1球で東京2020オリンピックの競技が幕を開ける

7月21日～8月7日

東京2020大会 野球・ソフトボール競技開催(県外での試合日程も含む)
※野球: 7月28日～8月7日、ソフトボール: 7月21日～7月27日

7月21日～8月7日

東京2020大会 サッカー競技開催(県外での試合日程も含む)

7月23日

東京2020オリンピック開幕

7月24日

柔道男子60kg級で、県ゆかりの高藤直寿選手が優勝。東京2020大会の日本勢メダル第1号となる

7月24日、25日

東京2020大会 自転車競技ロードレース開催

7月24日

ラストマイル上の江の島島内をスウィングバナー、のぼり旗で装飾

7月25日～8月4日

東京2020大会 セーリング競技開催

7月25日

セーリングちゃんねる、ツイッター「セーリング2020ガイド」の開始、セーリング競技特集サイトの公開

7月30日

神奈川県に対し緊急事態宣言が発出(期間: 8月2日～9月30日)

8月1日

県のためにより「もう一つの聖火に想いをのせて。」を掲載

8月6日

パラリンピック聖火フェスティバルの実施詳細及びパラリンピック聖火ランナーを発表

8月8日

東京2020オリンピック閉幕

8月10日～24日

ポルトガルパラリンピック選手団が県立スポーツセンターで事前キャンプを実施

8月10日～20日

ブータンパラリンピック選手団が星槎大学箱根キャンパスや城山陸上競技場で事前キャンプを実施

8月12日～15日

神奈川県パラリンピック聖火フェスティバルを開催

8月13日

「神奈川県パラリンピックガイド」を発行

8月15日

横浜赤レンガ倉庫で神奈川県「パラリンピック聖火フェスティバル集火・出立式」を実施

8月16日

IPC、組織委員会、東京都、国の4者協議を経て、東京2020パラリンピックは全会場原則無観客となる発表される

8月16日

係留クルーザーの湘南港への艇戻し作業を開始

8月16日ほか

「東京2020 NIPPONフェスティバル」の実施

8月22日

東京都で実施されたパラリンピック聖火リレー(点火セレモニー)に神奈川県代表の聖火ランナー(小石昌矢氏)が参加

8月24日

東京2020パラリンピック開幕

9月1日

ディンギー及び陸置クルーザーの湘南港への艇戻し作業を開始

9月5日

東京2020パラリンピック開幕

9月13日

東京2020大会・セーリング競技開催記念モニュメントの移設作業を開始

9月24日

「ゴールドポストプロジェクト」の第1号として、ソフトボールで金メダルを獲得した山田恵里選手の功績を称えた「ゴールドポスト」を藤沢市に設置

9月26日

「神奈川県・横浜アスリート感謝会～おうちからARIGATOを届けよう!～」をオンライン開催

9月30日

係留クルーザーの艇戻し作業が完了

10月15日

ディンギー及び陸置クルーザーの艇戻し作業が完了

10月22日

セーリング課廃止

11月3日

NPO協働事業「湘南ロボテアセンター利用者向けセーリング体験会」を実施

11月27日

「東京2020大会・セーリング競技開催記念モニュメント移設記念式典」を実施

2022**2月18日**

東京2020大会の大会概要や記録等を示したレガシー銘板を湘南港等に設置

4月1日

オリンピック・パラリンピック課廃止



HOST VENUE

東京2020大会 神奈川県記録集

A Record of Kanagawa Prefecture:
Olympic and Paralympic Games Tokyo 2020

発行 令和4年3月

発行者 神奈川県スポーツ局オリンピック・パラリンピック課



神奈川県

スポーツ局オリンピック・パラリンピック課
横浜市中区日本大通1 〒231-8588
電話(045)210-1111(代表)